

GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER

ガバナー月信 10月号 vol.04
2012.10.01



滋賀県瀬田川：河本英典 撮影

Contents

ガバナーメッセージ	2
夏季東日本復興奉仕研修を終えて	3
「地区補助金」の概要と申請要領	4～5
宇治市に豪雨災害復興支援	
RI第2650地区 第1組 インターシティーミーティング開催	6
IM単位の新会員セミナーがスタート	7
クラブだより	7～8
会員数の増減および出席率表	9
7月 会員の動き	10



Bridge the Gaps

国際ロータリー第2650地区2012-13年度



本年度新導入の 合同公式訪問について

2012～2013年度ガバナー

Eisuke Kawamoto

河本 英典



公式訪問を続けています。9月末で63クラブ（49会場）訪問を終えることになります。さらに10月には21クラブを訪問し、84クラブ（67会場）を終えることになりトンネルの出口が見えてきました。前回にも言いましたように、本年度の公式訪問は、いくつかのクラブによる合同方式によりスムーズな年度スケジュールの進行となっています。

訪問完了を前倒しすることで、本来、早く聞いた方がいいアドレスやその年度の特徴を、そして方針なり考え方を直接クラブメンバーに細かく親切に伝えることができます。双方向の実りあるコミュニケーションができたことは、合同公式訪問導入の最大の効果であったと確信します。インターシティ・ミーティング時の会長会議において、実施クラブからも、よかったと評価をいただいているところです。

残念ながら、この新方式採用にあたってのお願いを各クラブの会長、会長エレクトあてに早い時期から問いかけていたにもかかわらず、真意と思いがあまり伝わっておらず、理解は不十分なものでありました。結局はガバナー補佐のご尽力で幾組かの合同方式が実現し、一定の成果をあげることができた次第です。

例会は合同方式で行っても、会長幹事懇談会はそれぞれのクラブ毎に実施すること。そして次年度実施の事柄を次年度執行部に相談を持ちかけたのにも関わらず、肝心の次年度会長エレクトは十分な相談もせずに、当該年度の会長がその年度の理事会で簡単に「しない」という結論を出してしまっていたことなどが、後で分かり残念な思いをしました。

地区からの、文書、アナウンスメントはなかなか十分に伝わらないものだと改めて、「ギャップ」はたくさんあるものだと痛感しました。

お互い、「文書は読んでいない」「話は聞いていない」「やっている、していると言いながらやっていない」ものなのだなあ〜とロータリーらしさを変な場面を感じています。

よい年度で終わられるように頑張るつもりです。

夏季東日本復興奉仕研修を終えて

RI第2650地区 インターアクト委員長 桜澤 仁志

2012—13年度夏季研修は去る8月1日～5日、岩手県宮古市、宮城県塩釜市・気仙沼市で恙なく終了しました。アクター・顧問・ロータリアン総勢59名の参加です。

今回の東日本大震災への復興支援・奉仕は私達国民が共有する責務であり、同時にアクターの思いでもあることは、今回43名（例年の2.5倍）の参加、90%の参加校が得られたことでも明らかで、誠にうれしい限りです。

初日、RI第2520地区年次大会に参加、基調講演で宮澤和樹氏の「宮澤賢治・故郷再生への心」を聴講、復興への原点を学び、松島湾・越前高田・大船渡市等々で震災・津波の悲惨さ・甚大さを研修しました。

第2日目は、津波で校舎内二階近く迄冠水、校庭が瓦礫・流木の山となった宮古工業高校で校門前35mの花壇の造成、花苗1,200鉢及び、桜・メタセコイア10本の植栽です。同工業高校生や地区宮古RCの方々と交流しながら楽しい作業です。昼食時には津波流入の模様・また同校生の人名救助場面等々生々しい映像を紹介いただきました。

気仙沼市への移動途中、陸中山田町のロータリー「鎮魂と希望の鐘」（RI田中作次会長揮毫）で献花・黙祷を捧げました。設置に尽力された盛岡北RCパスト会長田口絢子氏より建立へのお話を拝聴、アクター全員ロータ

リアンの奉仕の心に感銘したことです。

研修最終日は二班に分かれて気仙沼市小原木・白山両校で学童・保護者・仮設住民等の方々と交流しつつ校庭の整美、除草、水仙球根やコスモスの種の植付けです。又除草機や学校図書券の贈呈も唐桑・松園両幼稚園への学園図書券の贈呈行事と併せ滞りなく終了しました。昼食後の交流会は「万華鏡作り」やゲーム・コーラスの交歓で全員参加の大盛会でした。

最後に世界遺産「中尊寺」を拝観、伝統文化の大切さに心をよせながら帰途についたことです。

研修報告会では復興奉仕支援が今後も更に重要なこと、被災地の人達の復興への意気込みに感動したこと、また奉仕の素晴らしさが本当によく理解できたこと等々多くの感想が寄せられました。正にロータリーの「奉仕の理想」の精神が継承されたことを確信いたしました。

今回の企画について地区、地区内提唱RC・学校また、宮古・宮古東・気仙沼の各ロータリークラブ、東稜高校インターアクトクラブ、又第2520地区インターアクト委員会の皆さんに多大なご指導、ご協力を賜りました。

インターアクター一同、地区委員会共々厚く感謝申し上げます。有難うございました。



年次大会



鎮魂と希望の鐘前

宮古工業
植樹白山小学校
万華鏡

「地区補助金」の概要と申請要領

財団補助金委員長 大塚 紀夫

概 要

- ・地区補助金は、クラブと地区がロータリー財団の使命を支え、地元や海外の緊要なニーズに取り組むための補助金です。
- ・地区財団活動資金（DDF）の50%以内を使って、地区の裁量で、人道的な奉仕事業や奨学金事業、災害救援事業等の補助金として各クラブへ交付致します。

申請要領

- ◎各クラブは、2月1日～5月15日の間に、次年度実施予定の事業への補助金を申請して下さい。
 - ・地区では、クラブの申請書を5月16日～5月31日の間に審査します。
 - ・地区で審査が通った事業をまとめて、スペンディングプランを作成します。
- ◎地区は、スペンディングプランを添付して、オンラインで財団に、地区補助金を一括申請します。
 - ・通常ですと、財団は地区の申請を2～3週間程で審査します。
 - 財団補助金参加資格や前年度までの報告書提出等に問題がなく、スペンディングプランが財団の使命、目的に妥当なものであれば、財団から、地区へ承認のレターが届きます。
- ◎地区は、財団の承認を確認し、すみやかにクラブへ補助金交付通知をします。
- ◎地区は、財団より、地区の財団補助金専用口座に「地区補助金」の送金を確認され次第、クラブの「財団補助金専用口座」へ送金します。
- ◎クラブは、補助金事業が完了しましたら、1ヶ月以内に領収書と支出明細書を添えて、最終報告書を地区へ提出して下さい。

以上が、地区補助金の簡単な説明ですが、下記に2650地区が定めました「地区補助金要領」を掲載しましたので、お目通し下さい。

なお、「地区補助金の留意点」、「申請書の留意点」、「最終報告書、支出明細書の留意点」、「申請書式」、「報告書式」等を毎年1月中旬までにクラブへお送りさせていただいておりますので御確認下さい。

2650地区の地区補助金要領

2650地区では、以下の様に地区補助金要領を定めています。

提案書提出期間	・ 随時（4月末日まで）
申請書提出期間	・ 2月1日～5月15日
審査期間	・ 5月16日～5月31日
交付開始	・ ロータリー財団より地区に補助金が一括で振込まれ次第

補助金交付基準	人道的事業補助金の限度額と提唱クラブの自己資金拠出必要額	● 次のいずれか大きい方の金額をもって補助金交付額の最高限度額とする。 ① クラブの申請時の直前年度の一人当り年次基金寄付実績の30倍の額 ② クラブの自己資金拠出額の2倍の額 ● 提唱クラブの自己資金拠出必要額は、事業1件当り15万円以上とする。 ● 地区事業の場合、全予算額を補助金対応とする。
	奨学金の補助額と提唱クラブの自己資金拠出必要額	● 大学生の奨学金補助額（1人当り年間） ・ 国内は80万円以下 ・ 国外は120万円以下 ● 高校生の奨学金補助額（1人当り年間） ・ 65万円以下 ● 提唱クラブの自己資金拠出必要額は授与予定奨学金額の20%以上とする ● 地区事業の場合、授与予定奨学金全額を補助金対応とする。
	職業研修チームの補助額と提唱クラブの自己資金拠出必要額	● 一チーム当りの補助額は、最大120万円を限度とする ● 提唱クラブの自己資金拠出必要額は、全予算額の20%以上とする。 ● 地区事業の場合、全予算額を補助金対応とする。
	特記	事情によって、財団補助金委員会の裁量による補助金額の追加調整もあります。

補助金の条件	支給方針	● 人道的なプロジェクトへの支給は、逼迫性、緊急性、受益者の数、人道的重要度、等を審査の主眼とします。 ● 奨学金の支給は、優秀な学生でかつ経済的に困難な状況にあるかどうかを十分に審査します。 ● 職業研修チームについては、目的が明確であるか、効果が十分に期待出来るか、チームメンバーは優秀か、予算は合理的なものであるか等を中心に検討致します。 ● 補助金の支給については、地区補助金の各分野への配分予算額を超える申請があった場合は、先着優位と人道的重要度優位の2点を審査の主眼とする競争性により決定します。
	遵守誓約	● 補助金の主たる目的通りに適正に資金を活用すること。 ● 財団の定める授与と受諾の条件を遵守すること。 ● 地区との「報・連・相」を密接にすること。

2013-14年度の為の財団カレンダー

年	月	地区参加資格	クラブ参加資格	地区補助金	グローバル補助金	ロータリー平和フェロシップ
2013	1			・申請要領案内書配布 (地区→クラブ)	●オンライン・随時受付(クラブ→財団) ●補助金期間中12ヶ月ごとに中間報告書提出(クラブ→財団) ●プロジェクト完了後2ヶ月以内に最終報告書提出(クラブ→財団)	
	2		・財団補助金管理セミナー受講 2013-14年度クラブ役員対象 (2月～3月地区が実施)	1日 ・申請書受付開始 (クラブ→地区) ・ ・		
	3			15日 ・申請書受付締切		・クラブが候補者の面接と選考 ・クラブから地区へ推薦申請書提出 (4月末締切)
	4		・クラブ覚書を提出 2013-14年度会長、会長エレクト署名 (メールか郵送で/クラブ→地区)	・地区による審査 ・スベンディングプラン決定		・地区による面接と選考 (5月下旬実施)
	5	・参加資格取得手続 2013-14年度地区役員による チェック (オンライン/地区→財団)	・財団補助金専用口座情報提出 (クラブ→地区)	・地区より財団へ申請(オンライン)		・地区からRi世界本部へ候補者申請書提出 (6月20日頃までに)
	6		・クラブ参加資格確認締切	・財団より承認通知(財団→地区)		1日 ・2013-14年度留学開始生募集締切
	7			・クラブへ交付通知(地区→クラブ)		・ロータリー財団と平和センター 提携大学が審査し、最終候補者 選考
	8		・地区ロータリー財団セミナー受講 (2013-14年度クラブ役員対象)	・財団より補助金入金(財団→地区) ・クラブへ補助金送金 (地区→クラブ)		
	9			・財団へ最終報告書提出 (地区→財団/オンライン)		・世界競争制による選考結果が地区と候補者に通知される
	10			・補助金事業実施報告書提出(クラブ→地区) ※事業完了後1ヶ月以内に提出		
	11			・ ・ ・ ・ ・		・2014-15年度の申請書WEB掲載 予定 ・地区、クラブは候補者募集を広報
	12			・ ・ ・ ・ ・		
2014	1				・年次財務評価実施	
	2 3 4 5 6 7			6月末までに最終提出		
	8					

(MEMO：上記カレンダーは、おおむねの予定です。)

宇治市に豪雨災害復興支援として300万円を寄付いたしました。

国際ロータリー第2650地区では先の「宇治市豪雨災害（8月13日）」に對しまして宇治ロータリークラブ、宇治鳳凰ロータリークラブと協調して「災害復興支援の目的」で宇治市に対して総額300万円の寄付を実行いたしました。

- 宇治ロータリークラブ から 50万円
- 宇治鳳凰ロータリークラブから 50万円 (順不同)
- 国際ロータリー第2650地区「災害対策基金」から 200万円

9月4日午後4時半、河本ガバナー、脇田会長（宇治RC）、雨堤会長（宇治鳳凰RC）、小永井ガバナー補佐、井上幹事長は宇治市役所に到着した。寄付の意向を両クラブを通じてお伝えしていたところ災害復旧業務で多忙な中、久保田勇宇治市長には貴重なお時間を割いて頂いたのである。河本ガバナーから寄付金の贈呈を行い、市

長からは感謝状を頂戴した。宇治市では復興予算を組み災害復興に必死でお取り組み中であるが、一日も早い復旧、復興とお亡くなりになった方のご冥福を祈ると共に被災された多くの方にお見舞いを申し上げます。

(記：宮川芳夫)



RI第2650地区 第1組 インターシティ ミーティング開催

「日本人のこころと復興」



懇親会乾杯

IM第1組実行委員会
委員長

橋本 猛

(大津西ロータリークラブ)

本年度、第2650地区第1組のインターシティミーティングは、9月8日、大津西クラブがホストを務め、大津プリンスホテルで開催された。当日は、県内22クラブより多くの出席登録があり、滋賀県知事、大津市長をはじめパストガバナーなどの来賓、そして、奈良橿原ロータリークラブやEクラブ会員の参加を得て、式典会場のプリンスホールは580余名のロータリアンでいっぱい溢れた。

東日本大震災から半年、復旧・復興が、遅々として進まない。誰もがまどろっこしさを感じていた昨年の9月にホストクラブの指名を受けたが、IMのテーマは、何としてもこの問題に関連づけたいと考えていた。

年が明けて、河本年度のスローガンが「Bridge the Gaps（隔たりをなくそう）」と発表された。

国民が一丸となって震災復興に取り組まなければならない時に、互いの心に隔たりがあってはならない。日本人の心の深層には、共通する何かがあるはずではないか。基調講演の講師には、自然や自然災害と日本人について発言し続けている宗教学者の山折哲雄先生に決定した。

当日、山折先生の講演は、日本人なら誰でも知っている『夕焼け小やけ』の童謡から始まった。「この歌には

仏教の心が唄い込まれている。日本人には無意識の間にも仏教の精神がしみ込んでいるのではないか」と解説する先生のお話は、形あるものは必ず壊れる、生あるものは必ず死ぬ、と仏教で言う「無常」の世でも、これを容認し、なお生きることを追及する日本国民の強さを説くものであった。

講演の前には友愛タイムを設けて、大津児童合唱団の歌声を聞いた。今回は、びわ湖の歌とふる里の四季を歌った童謡という、誰でもが知っているものを選曲していただいた。震災などの自然災害のために、ふる里を失い、ふる里を追われ、未だにふる里に帰れない多くの方々がいるわが国の現実。可愛い天使の歌声は、会場いっぱいのロータリアンの心に響き、その眼がしらを熱くした。

コンベンションホール淡海へと会場を移しての懇親会は、340名の登録を得て、賑やかに開催された。松村ガバナー補佐の発声による乾杯の後、民謡「若竹会」の出演が花を添え、「手に手つないで」の合唱は、大きな友情の輪を広げた。

会員減少に悩むわが大津西クラブにとって、このように会員一致してホストを務めあげた経験は、必ずや会員増強、クラブの発展につながることを期待している。

基調講演
山折 哲雄 先生

大津児童合唱団

IM単位の新会員セミナーがスタート

地区研修委員会副委員長 熊本 國勝

新会員セミナーと云えば「地区大会」を連想致しますが、今年は、河本英典ガバナーの新会員育成への強い思いから、

地区内では初めての「新会員セミナー“ロータリーへ、ようこそ”」がIM単位で開催されています。

目的は“真のロータリアンになるために、もっとロータリーを知ってもらおう”であります。

セミナー担当委員会は、地区情報委員会と地区研修委員会が合同で開催する事になり、数回の実施内容討議を重ねた上での新会員セミナーのスタートです。

その第1回は8月18日（IM第3組京都南部26RC）参加者95名。第2回は9月8日（IM第1組滋賀県26RC）参加者53名、第3回は9月15日（IM第5組福井県20RC）参加者40名、が受講されました。

プログラムは3部構成で、1部「基礎知識編」では、地区マニュアル編集委員会から発刊されている“ロータリーへ、ようこそ”第13版を基礎に経験豊富なロータリ

アンによる30分の卓話。2部「バズセッション」ではテンプルリーダーの下、参加者全員で「私の職業を語る」を約1時間に亘ってのディスカッション。3部「昼食を挟んでのフリートーキング」と約2時間半のコースで実施されました。

各組ともに共通しているのが、入会1年未満の会員がほとんどで、中には今年7月・8月の入会者も多く硬さを感じられましたが、すぐに名刺交換からの交流が始まり、セミナー開始時にはリラックスした状態です。

テキストを紹介しながらの「経験豊富なロータリアンの卓話」は、其々に説得力があり共感を持って受け入れられたようです。又、バズセッションでは「私の職業の職業観や特性」「顧客から喜ばれたサービスや事業」について出席者みなさん思い思いにお話を頂きました。昼食を終わった後も皆さん中々席を立とうとしなかったのが印象的でした。

クラブだより① 武生府中ロータリークラブ

第2650地区 初めての合同ガバナー公式訪問例会!!

去る7月17日(火)、第2650地区に於いて初めての合同ガバナー公式訪問が、福井県は越前市にて、武生ロータリークラブと武生府中ロータリークラブの参加の下行われました。

暑い日差しが照りつける青空の下、明るい笑顔で颯爽と現れた河本ガバナーは、会場に敷かれた赤絨毯の上を堂々と歩きながら、例会場へと向かわれました。

ガバナーアドレスでは、飾らない率直な話しぶりで私た

ちの心を捉え、ユーモアを交えながら、ロータリーにおける会員拡大・寄付・そして奉仕を訴えられました。

初の合同公式訪問という新鮮さに加え、両クラブの交流が図られた事も嬉しい副産物の一つでした。

その後、場所を移して、これもまた初のオープンの会長幹事懇談会、並びに一般会員との懇談会が、我が武生府中ロータリークラブにおいて行われ、ガバナーの一本筋が通り

りながらも、明るくオープンな姿勢と、会長・幹事・一般会員の熱心な取り組みによって、中身のある大いに盛り上がった内容となると共に、ガバナーそしてロータリークラブに今までにない親近感を感じた懇談会とする事が出来ました。

その後の懇親会においても、河本ガバナーは、積極的な交流を心掛け、Bridge the Gaps を自ら実践され、その姿勢は、私達にとって親しみやすくもあり、また頼もしくもあるもので、正にこの日は、私達の心に残る素晴らしい一日となりました。

河本ガバナーの心配りに会員一同心より感謝申し上げます。

(記：クラブ広報委員長 倉内 伸彦)



クラブだより② 京都嵯峨野ロータリークラブ

避難生活の子供たちに少しでも笑顔を！

京都嵯峨野ロータリークラブでは創立20周年記念事業の1つとして、東日本大震災の影響で京都市内に避難生活を送られている宮城、福島、茨城、千葉、神奈川の5県出身の29組73名の親子を招待し、不自由な避難生活を送っている子供達に、笑顔を取り戻し夏休みの楽しい思い出を作ってもらふ事を願って「親子でケーキをデコレーション」を開催致しました。

京都全日空ホテルのパティシエの指導の下で、子供達にパンダの顔をデザインしたデコレーションケーキづくりを体験して貰いました。

親御さんも手を差し伸べながら笑顔で楽しんでいただけている様子を見まして、この企画は間違っていなかったと確信した次第です。

作ったケーキは全て持ち帰っていただき、ご家庭でまた地域の子供達とより多くのふれあいの場を持っていただく様にいたしました。

当日はクラブ員も多数出席をしまして、今後の奉仕活動に繋げるべく避難生活をされている皆さんから生の声をお聞きする良い機会となりました。

(記：京都嵯峨野ロータリークラブ 村田 信也)



クラブだより③ 京都西ロータリークラブ

—『ロータリーエコアワード』について—



京都西ロータリークラブでは環境保全活動の一環として、2008年度から、エコ意識の高揚、エコ活動の実践等、『Do you Kyoto?』を推進していくための啓発活動として、『ロータリーエコアワード』事業を創設し、毎年度、小学生を対象とした家庭や学校における身近なエコ活動の提案や環境保全を訴求する標語・ポスターの募集、優秀作品の表彰を行ってまいりました。

このエコアワード事業は、地元の小学校（生徒・先生・

保護者）や行政（市、教育委員会、区役所等）から、多大なご協力、ご支援をいただき、当クラブの毎年の恒例の事業として、広く認知され、定着してまいりました。今後とも地元の学校、自治体との連携協力によって、当クラブの特色ある社会奉仕事業の1つとして、継続、発展させていく予定であります。

(記：社会奉仕委員会・環境保全委員会)

第2650地区 2012年7月会員数の増減および出席率表

京都府 (42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会 数	出席率 (%)	女性 会員数
綾部	27	2	0	29	27	2	0	4	95.57	1
福知山	58	0	1	57	58	0	1	4	89.25	0
福知山西南	44	0	0	44	44	0	0	5	93.98	0
亀岡	30	0	0	30	30	0	0	5	100.00	0
亀岡中央	15	0	0	15	15	0	0	4	95.00	1
京丹後	28	0	0	28	28	0	0	4	95.47	2
京都	176	6	1	181	176	6	1	4	98.68	0
京都伏見	85	0	0	85	85	0	0	4	86.47	4
京都平安	27	0	0	27	27	0	0	4	75.96	4
京都東	89	0	0	89	89	0	0	4	93.94	0
京都東山	78	0	0	78	78	0	0	5	100.00	2
京都北東	27	0	1	26	27	0	1	4	94.74	0
京都城陽	29	1	0	30	29	1	0	4	94.61	1
京都桂川	30	0	0	30	30	0	0	4	97.19	0
京都市	61	1	0	62	61	1	0	4	99.15	0
京都南	202	6	1	207	202	6	1	4	94.23	0
京都モーニング	45	0	0	45	45	0	0	4	90.09	4
京都紫野	60	2	0	62	60	2	0	4	100.00	0
京都中	37	2	0	39	37	2	0	4	100.00	0
京都西	99	3	0	102	99	3	0	4	98.41	0
京都西山	19	1	0	20	19	1	0	4	94.44	1
京都乙訓	29	7	0	36	29	7	0	4	97.14	0
京都洛中	74	1	0	75	74	1	0	4	97.01	0
京都洛北	70	0	0	70	70	0	0	4	90.90	0
京都洛南	30	1	0	31	30	1	0	5	94.68	1
京都洛西	45	0	0	45	45	0	0	4	93.43	6
京都洛東	34	1	0	35	34	1	0	4	90.91	0
京都嵯峨野	22	0	0	22	22	0	0	4	86.90	0
京都さくら	26	0	0	26	26	0	0	4	77.66	5
京都西北	47	0	0	47	47	0	0	4	89.68	0
京都西南	42	1	0	43	42	1	0	5	92.49	5
京都紫竹	38	0	0	38	38	0	0	4	83.01	2
京都朱雀	43	1	0	44	44	1	0	4	82.13	2
京都田辺	20	1	0	21	20	1	0	4	86.61	2
京都山城	38	1	0	39	38	1	0	4	98.57	0
京都八幡	29	0	0	29	29	0	0	5	91.20	1
舞鶴	25	0	0	25	25	0	0	4	91.24	0
舞鶴東	41	0	0	41	41	0	0	4	91.29	0
宮津	34	3	0	37	34	3	0	5	96.68	0
園部	25	1	0	26	26	1	0	4	97.78	0
宇治	35	0	1	34	35	0	1	4	97.70	0
宇治鳳凰	48	0	0	48	48	0	0	4	100.00	4
小計	2,061	42	5	2,098	2,063	42	5	4.2	93.20	48

奈良県 (13クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会 数	出席率 (%)	女性 会員数
あすか	51	0	0	51	51	0	0	4	88.74	0
五條	29	1	0	30	29	1	0	4	96.46	1
平城京	33	1	0	34	33	1	0	4	94.01	3
生駒	25	1	0	26	25	1	0	4	82.19	1
橿原	58	0	2	56	58	0	2	4	79.74	2
奈良	141	2	0	143	141	2	0	4	97.97	4
奈良東	43	0	0	43	43	0	0	4	94.61	0
奈良西	47	0	0	47	47	0	0	4	93.15	3
奈良大宮	70	1	0	71	70	1	0	5	95.33	0
王寺	18	3	0	21	18	3	0	4	94.05	3
桜井	34	0	0	34	34	0	0	4	85.81	0
大和郡山	54	0	0	54	54	0	0	4	93.60	0
大和高田	90	4	0	94	90	4	0	4	97.46	2
小計	693	13	2	704	693	13	2	4.1	91.78	19

福井県 (19クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会 数	出席率 (%)	女性 会員数
福井	100	5	2	103	100	5	2	4	74.37	4
福井あじさい	56	0	0	56	56	0	0	4	71.57	5
福井フェニックス	40	0	0	40	40	0	0	5	83.50	8
福井東	30	0	0	30	30	0	0	4	81.44	2
福井北	109	1	1	109	109	1	1	4	88.68	7
福井南	44	0	0	44	44	0	0	5	70.09	0
福井西	29	0	0	29	29	0	0	4	91.27	0
福井水仙	18	0	0	18	18	0	0	4	72.22	1
勝山	30	0	0	30	30	0	0	5	94.67	3
丸岡	40	0	0	40	40	0	0	4	93.06	0
三国	26	0	0	26	26	0	0	4	92.16	4
大野	32	1	0	33	32	1	0	4	100.00	2
鯖江	32	1	0	33	32	1	0	4	85.89	0
鯖江北	16	2	0	18	16	2	0	4	73.37	0
武生	60	1	0	61	60	1	0	5	82.84	4
武生府中	34	0	0	34	34	0	0	4	93.75	0
敦賀	32	3	0	35	33	3	0	4	86.31	0
敦賀西	20	0	0	20	20	0	0	4	83.75	1
若狭	28	0	0	28	28	0	0	5	98.49	0
小計	776	14	3	787	777	14	3	4.3	85.13	41

滋賀県 (22クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会 数	出席率 (%)	女性 会員数
びわ湖八幡	46	1	0	47	46	1	0	4	94.42	2
五個荘能登川	19	0	0	19	19	0	0	4	73.47	0
東近江	39	2	1	40	39	2	1	4	88.26	0
彦根	63	1	3	61	63	1	3	4	92.43	4
彦根南	68	1	0	69	68	1	0	5	99.69	0
湖南	35	1	0	36	36	1	0	4	100.00	2
草津	38	1	0	39	38	1	0	4	91.11	0
水口	42	0	0	42	42	0	0	4	95.29	0
守山	38	2	0	40	38	2	0	4	92.93	0
長浜	59	5	0	64	59	5	0	4	94.15	0
長浜東	65	1	1	65	65	1	1	4	95.99	0
長浜北	23	1	0	24	23	1	0	5	85.83	0
近江八幡	45	0	0	45	45	0	0	4	94.44	1
大津	102	0	0	102	102	0	0	5	99.18	0
大津中央	26	1	0	27	26	1	0	4	82.41	2
大津東	24	0	0	24	24	0	0	4	83.88	2
大津唐橋	15	0	0	15	15	0	0	4	83.34	0
大津西	23	0	0	23	23	0	0	4	97.56	0
栗東	33	0	0	33	33	0	0	4	87.25	1
高島	42	1	0	43	42	1	0	4	98.69	1
野洲	30	0	0	30	30	0	0	5	93.11	0
八日市南	53	0	0	53	53	0	0	4	81.90	2
小計	928	18	5	941	929	18	5	4.2	91.15	17

Eクラブ (1クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会 数	出席率 (%)	女性 会員数
Eクラブ	40	6	1	45	42	6	1	4	99.46	6
小計	40	6	1	45	42	6	1	4	99.46	6

合計 (97クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	7月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会 数	出席率 (%)	女性 会員数
合計	4,498	93	16	4,575	4,504	93	16	4.2	91.03	131

■表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、7月会員数および入退会者累計数は7月末現在です。
- ・今年度の「期首会員数」は、平成24年7月1日現在の会員数です。

国際ロータリー第2650地区 2012～2013年度 7月 会員の動き

7月 入会者

クラブ名	氏 名	職業分類
鯖江	瀧ヶ花 秀晃	運送業
鯖江北	島田 欽一	水産物加工
鯖江北	高田 義紀	仏教
大野	田中 博	塗装業
敦賀	刀根 莊兵衛	駅弁販売
敦賀	林 敏一	原子力安全研究
敦賀	前川 芳土	電力供給
武生	白崎 裕二	自動車部品製造
福井	矢野 弦一	生命保険
福井	中島 康将	損害保険
福井	城戸 利枝	旅行業
福井	山口 雄司	金融リース
福井	伊藤 嘉信	新聞
福井北	合澤 和生	電力供給業
びわ湖八幡	村井 弘樹	LPG販売
湖南	近藤 和彦	ガス販売
高島	桧山 永好	遊技場
守山	辻井 浩二	自動車钣金
守山	水野 裕久	保険業
草津	武村 功	ゴルフ場
大津中央	井上 敦夫	商業銀行
長浜	北川 孫隆	自動車学校
長浜	藤居 昌幹	木造建築
長浜	中川 浩邦	釣具販売
長浜	山口 竹志	資源開発
長浜	竹仲 滋祥	信用金庫
長浜東	設楽 昌克	レストラン
長浜北	森 忠男	外装工事
東近江	福井 俊明	電気事業
東近江	岡 正基	信用金庫
彦根	宮崎 暢一	情報通信事業
彦根南	黒田 一臣	自動車整備
綾部	松下 可奈	ガス販売
綾部	今川 和則	精密機械製造
園部	西岡 政人	サービス業 美装

クラブ名	氏 名	職業分類
宮津	野田 真人	金属製錬
宮津	太田 順一	ゴルフコース
宮津	糸井 正樹	税理士
京都	菅田 芳孝	病院
京都	木下 博夫	会議場
京都	福島 和義	証券会社
京都	太田 茂	地方銀行
京都	山元 康裕	電力供給事業
京都	井村 有雄	百貨店
京都乙訓	田原 尚樹	土木業
京都乙訓	川岸 右文	新聞販売
京都乙訓	小田 精彰	石油類販売
京都乙訓	小川 修司	缶詰製造
京都乙訓	小西 一則	土地家屋調査士
京都乙訓	坂口 直典	仏教
京都乙訓	吉村 徹	観葉植物リース
京都山城	梅田 哲	交流施設
京都紫野	松本 栄一	スポーツターフ アドバイザー
京都紫野	伊原 義男	レストラン
京都朱雀	大友 義博	旅館
京都城陽	佐藤 浩市	ゴルフ場
京都西	木全 秀文	製菓機械製造 販売
京都西	徳尾 隆次	書籍出版
京都西	栗栖 基	日本料理
京都西山	松田 直樹	肛門外科医
京都西南	田尻 世津子	司法書士
京都中	光本 大助	瓦工事
京都中	辻 佳男	子供呉服販売
京都田辺	小林 利次	書道教授
京都南	石黒 忠夫	医療器材卸売
京都南	真鍋 雄一郎	病院経営
京都南	森田 章	大学
京都南	上野 修二	証券業
京都南	松原 将文	警備業

クラブ名	氏 名	職業分類
京都南	岡本 豊洋	総合病院
京都北	鈴木 卓也	証券業
京都洛中	山口 忠洋	繊維製品系卸売
京都洛東	山内 晴己	服飾付属品卸
京都洛南	前田 美希	飲食業
王寺	福留 伸一	印刷業
王寺	芝崎 善彦	老人・障害者 福祉事業
王寺	下崎 千代子	学校教育
橿原	菅谷 文則 (名誉会員)	文化財保存
橿原	吉岡 章 (名誉会員)	小児科医
五條	吉川 和伸	郵便業
生駒	米津 栄樹	百貨店
大和高田	牟田園 一仁	外国為替銀行
大和高田	堀内 邦郎	印刷
大和高田	中川 和久	農園業
大和高田	加賀美 浩	証券業
奈良	福田 正男	百貨店
奈良	服部 亘	ビルディング 経営
奈良大宮	森 完二	住宅製造
平城京	辻 弘明	仏教
日本ロータリー Eクラブ2650	篠田 徹	紙加工
日本ロータリー Eクラブ2650	志村 修	グラフィック デザイナー
日本ロータリー Eクラブ2650	土生 豊彦	塗装及び内外装
日本ロータリー Eクラブ2650	小野 義仁	ダイレクトメール サービス
日本ロータリー Eクラブ2650	今井 義満	IT技師
日本ロータリー Eクラブ2650	桐淵 和子	医師（眼科医）

7月 退会者

クラブ名	氏 名
福井	九住 竜夫
福井	松原 淳一
福井北	服部 俊明
三国	真田 一郎
鯖江	石黒 郁夫
長浜東	設楽 忠克

クラブ名	氏 名
東近江	鳥居 幸敏
彦根	上田 健吉
彦根	角 栄次郎
彦根	大塚 幸雄
宇治	森本 均
京都	渋谷 康一郎

クラブ名	氏 名
京都南	米井 義之
京都北東	西川 博通
京都洛西	手嶋 千俊 (名誉会員)
福知山	南部 知幸
橿原	瀬上 和史

クラブ名	氏 名
橿原	羽根 史郎
日本ロータリー Eクラブ2650	佐野 泰之



Kyoto/Nara/Shiga/Fukui
R.I.D.2650
2012-2013

国際ロータリー第2650地区 2012-2013年度 ガバナー 河本 英典

■ガバナー事務所 〒600-8216

京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室

[tel] 075-353-2650

[fax] 075-343-2651

[E-mail] gov2012-13@rid2650.gr.jp